

子育てから新しい価値の創造へ

子育てしている母親が、自分の思いを声にすることから、いろいろな人と出会い関係を築くことで、互いを尊重し主体的に行動していく人となっていくネットワーク活動を展開しています。

それは、子どもや子育てに関わる人が増えるとともに、虐待の予防となり、生き育てることを喜び、育つときも老いるときも安心な地域社会を作ります。



子育てサロン

母親たちが子育ての喜びや葛藤を声にすることで、自身や周囲の偏見に気づき、自分自身を取り戻していく場。自分の思いを語り、受け止めてもらえる体験が、信頼できる関係の中で、自分を生きていく力を作り出す。

さいたま市

子育て支援センター みぬま 上尾市つどいの広場あそぼうよ
親子が安心して仲間作りができる施設を運営。母親たちがいろいろな子どもがいることを知り、子どもと関わることの楽しさをともに探していく場。

赤ちゃんとの交流授業

子どもの成長・発達と子育てについて、実際に子どもと母親たちが高校へ出かけて授業を行う。高校生たちは、将来子どもを育てることが豊かな生き方になると捉える機会となっている。
実施校：新座高校・大宮商業高校・いずみ高校・久喜高校・上尾高校など

地域ネットワーク

子育てしている親たちが、子育てを支援する地域の方や専門職者の持っている知識や支援の仕組みを必要ときに活用することができるよう、保健師や主任児童委員等と情報交換する場をつくっています。

彩の100日地域活動 ウォッチングキャンペーン

子育ての催しや、地域活動、企業の子育て支援の取り組みを、子育ての豊かさを伝えるコピーとともにパンフレットとポスターに作成する。県内全市町村に配布・掲示して、新しい視点を提案するムーブメントを起こしていく。

赤ちゃんのための赤ちゃんサロン「ベビコミ」

赤ちゃんの気持ちに気づき、コミュニケーションする力があることを発見していく場。埼玉トヨペット㈱の地域活動の一つとして2003年より実施。赤ちゃん・お母さんたちが、障がい者・高齢者・企業で働く人と関われる場となっています。

保育ボランティア体験学習

高校生が子育ての現状を学び、子どもを実際に預かる体験をする。夏休みと3月に、県内全域の高校に募集し、各地から各回100名以上の参加がある。母親たちは、子どもと高校生がお互いを信頼する姿に触れる。

セミナー

学びを通して、自分自身や周囲の偏見に気づき、互いを尊重することを獲得する。
テーマ：赤ちゃんのコミュニケーション・子ども虐待防止・妊娠出産・障がい・ひとり親家庭など

調査研究

心の声をお互いにたずねあい、その言葉を設問肢に作成するアンケート調査「横並び型アクションサーチ」を、母親・父親・若者・団塊世代等を対象に実施。アンケートに回答することや分析に関わることで多くの気づきを得られる。
「横並び型アクションサーチ(アンケート方式)」による子育てネットワークの形成と活性化に関する研究(平成15年度 児童環境づくり等総合調査研究事業・財団法人こども未来財団)ほか

こども☆夢☆未来フェスティバル

母親の呼びかけにより、様々な分野の地域活動をしている団体・企業から約500人の実行委員が参加する。大切にしたいことを皆で話し合いテーマを立て、参加を広くよびかけ、当日5,000人の集客数となる催し。活動の違い、障がいの有無、世代を超え新しい関係を生み出している。

活動から生まれた本

子育て未来地図(論創社・渡邊寛著)



*子どもの権利、女性の権利の尊重にはじまり、ノーマライゼーションの社会を当然の前提とすると、はじめてみえてくる私たちの未来地図(定価1,680円)

母親発一虐待予防マニュアル 心の声に出会うとき...ココがはじまり



平成17年度独立行政法人福祉医療機構(子育て支援基金)助成事業
*虐待予防ネットワークへの取り組みと活動(ご希望の方は、お問い合わせください)

活動から生まれたビデオ映像



「お母さんの声に耳をすませて みんなで子育て」(企画：財団法人 こども未来財団)
*閉じ込めていた自分の声・思いに気づいていきたい VHS31分 (全国に貸し出し中です)



虐待を防ぐために「ネットワークづくりと家族再統合への取り組み」(監修：社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会)
*それは母親たちのよびかけからはじまった／赤ちゃんサロンの紹介／子育てサロンの活動 DVD・VHS30分



「団塊の世代と子育て支援育つときも、老いときも安心な地域社会へ」(企画：財団法人 こども未来財団)
*私たちは、子育てを通してどんな未来に出会えるか DVD26分

研修・講座の企画運営 講師派遣

*子育てサークルリーダー研修事業(厚生労働省・こども未来財団)・みんなで子育て研修会(主催：厚生労働省・こども未来財団・児童健全育成推進財団・彩の子ネットワーク)等の企画運営
*保育ボランティア養成講座等の企画・運営
*県立高校出前授業
*講師派遣

シングルマザーズサロン

上尾市つどいの広場あそぼうよで偶数月第3日曜日10:00~12:00、さいたま市子育て支援センターみぬまで奇数月の土曜日に開催しています。H22年から実施しています。

保育者派遣

上尾市東保健センターの保育他、公民館・サークルなど

ネットワークづくり

市町村単位の子育てネットワーク構築支援
実績：上尾・和光・大宮・幸手・草加・川越・飯能・伊奈・庄和・日高・新座・上福岡・鶴ヶ島・富士見・さいたま・川口・越谷・蓮田・岩槻・戸田・秩父・本庄・久喜・白岡・鳩山など

「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会

「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会プロジェクトとして、子どもが成長して着られなくなった新生児～160cmの洋服を、無料でお預かりし、無料でお渡しする子どもの洋服交歓会を、2017年から開催しています。

地域の人たちが、ボランティアとして様々なかたちで関わり、新しいコミュニティの場をみんなで作っています。

新生児～70cmのベビー服は、つどいの広場あそぼうよ玄関前にて、常設で交歓会を行っています。

交歓会開催等についての情報はLINE@で配信しています。右QRコードでおともだち登録できます。



さいたま市子育て支援センター みぬま

泣いて、笑って、騒いで、寝て、子どもたちの中にあるいろんな姿を、ここで安心しておもいきりだしてほしい。

当たり前が伝える“生きてるぞ！”のパワーを街中に届けていける。「私の子どもだけでなく、みんなの子ども」そんなステキな関係がつけれる場所です。

※令和2年4月からの開室日です

《開室日》月～土曜日、第1～第4日曜日

9:00～16:00 (お昼の時間も開いています)

《休室日》第2・第4木曜日、第5日曜日、祝祭日

住所:さいたま市見沼区大和田1-1387-1

Tel/fax:048-747-4531

相談電話:048-747-4532

E-mail:sainoko-center@oboe.ocn.ne.jp

<https://ameblo.jp/minumakku/>

*さいたま市の委託事業として運営しています。



上尾市つどいの広場「あそぼうよ」

小さい子どもと一緒に、遊ぶ・寝る・笑う・泣く・学ぶ・発見する、など、みんなで楽しむことができる場所です。赤ちゃんを大切に育む関わりを、少し大きくなった子どもたちと、親たちと、地域の人たちと、みんなで大切にしています。

開所日・時間:月～土・第3日曜 10:00～15:00(祝祭日除く)

住所:上尾市本町2-13-8根貝戸団地1階 Tel/fax:048-778-5102

相談電話:048-778-5103 E-mail:asobouyo@sainoko.net

<https://ameblo.jp/ageo-asobouyo>

毎週月曜日に、「出張あそぼうよ@かわらぶき」を開催しています。

10:00～15:00 住所:上尾市瓦葺2716尾山台みんなのひろば(尾山台団地内)

*上尾市の補助事業として運営しています。



ちーちゃん(1歳3ヶ月)

あなたが大切
だからあなたの子育てが大切

認定NPO法人彩の子ネットワークでは、
会員・賛助会員を募集しています

年会費:1口1,500円から

振込先:郵便振替

口座番号00160-8-54781

加入者名:特定非営利活動法人

彩の子ネットワーク

認定NPO法人彩の子ネットワーク

代表 関昌美・鈴木玲子

〒362-0014 上尾市2-13-8根貝戸団地1階

Tel:048-770-5272 fax:048-770-5270

E-mail:office@sainoko.net

<http://www.sainoko.net>

令和3年7月